

こだわりの 成分

オーガニックと謳っていても、
パラベンやフェノキシエタノールを
使用しているものは使わない

「なぜ、オーガニック認証の取得された植物エキスを使わないのか？」

そんな質問をいただくことがあります。

理由はオーガニックの原料でも、抽出過程にパラベンやフェノキシエタノールを使用しているものが多いからです。キャリアオーバーの懸念もあります。そのために、オーガニック認証の取れた植物原料で抽出過程に化学剤を一切使用していないものが入手できる場合は、それらを使用していきますが、そうでない場合は独自の自社抽出などによる、私どもがお客様に自身を持ってお届けできる無添加の原料を使用しています。

オーガニックと謳われている原料でも、抽出に複数種類のパラベン、フェノキシエタノール、BGなどを使用していることが多くあります。特に水溶性のスキンケア商品である美容液・化粧水にそれらの原料を配合したくない私どもとしては、今後も自社で溶媒・キャリアオーバーに徹底配慮した独自抽出を続けてまいります。

その場合はその成分に関してはオーガニック認証がなくても、原料レベルで厳密に栽培過程やその土の状態の確認を行います。



ブルークレールオーガニクスでは、合成保存料も使用していません。保存料にはローズマリー、大根、柑橘類など、植物由来のフィト・エナジーを活用しています。



連載 シリーズ

こだわりの 成分

成分にこだわりを持って製造をおこなっている
ブルークレールオーガニクス。
今回からそのこだわりの成分を少しずつご紹介していきます。

ブルークレールオーガニクスが約束する こだわりの成分

ブルークレールオーガニクスでは、合成保存料・合成界面活性剤・合成ポリマー・合成紫外線吸収剤・シリコンオイル・鉱物油・合成着色料・合成香料無添加。植物由来のフィト・エナジーで防腐し、石油由来の合成添加物を配合していません。また、キャリアオーバー（表示義務のない間接的な化学成分）を避けるため、独自に抽出している成分もあります。

肌に潤いやハリを届けるペプチドや独自抽出のセラミド、エイジング肌に働きかける和漢エキス、ビサボロールや α -アルブチン、海藻エキスや植物由来幹細胞、また強い太陽光線や厳しい環境の中でも生き抜く生命力を持つ果実から採れたオイルなどを豊富に用いています。

従来の水蒸気蒸留法と、夢の精油とも言われる超臨界抽出法の両方を採用

ダマスクバラ花の抽出といえば、数千年前からの水蒸気蒸留抽出法が主なものであり、ブルークレールオーガニクスでもそちらを採用していますが、同時に超臨界抽出法（二酸化炭素抽出法）で得た、よりローズの有用成分をそのままに濃度高く安全に抽出したダマスクバラ花水とダマスクバラ花エキス、そしてダマスクバラ花油も採用しています。

伝統あるローズドリナでの朝積みと水蒸気蒸留

ブルガリアの中央部に、バラの谷ローズドリナと呼ばれる谷があります。スタラプラニナ山脈とバルカン山脈に挟まれた標高 200 ～ 600m の村々には、見渡す限りバラ園が広がっています。バラ園で育てられているのはダマスクローズ（ダマスクバラ）という品種です。ローズドリナは、谷を囲むふたつの山脈から湧き出る地下水が豊富で、土壌の水はけがよく、夜には山から清涼で湿った空気が谷に降りてくるというダマスクローズにとって最高の条件を満たしています。つまりダマスクローズは清廉な地下水で育てられます。また、バラが開花する 4 月～6 月の温度、湿度、風などの気象条件が花にとって非常に優れているため、花弁中の香り成分が発散されことなく、多く保たれます。ブルークレールオーガニクスがブルガリアから直接買い付けている農園も、毎年 5 月から 6 月にかけてバラを摘み収穫し一年分のローズ水を製造する時期に入るため、準備も入れて 4 月中旬から数か月はダマスクバラ花水の取り寄せができなくなります。



ローズドリナでは、一番花の香りが満ち溢れる 5 月下旬～6 月上旬の 2 週間、ダマスクローズの収穫が行われます。

まだ陽の昇らない早朝 5 時頃から午前 10 時まで、一輪一輪手作業で摘み取ります。陽が高くなってしまうと、花弁から香りがたちのぼってしまうため、まだ暗いうちに収穫します。摘んだバラはすぐに工場へ運ばれ、水蒸気蒸留もしくは一部が超臨界抽出されます。

3.5t～5t ものダマスクローズの花びらを集めてようやく約 1kg のローズオイルを取ることができます。花の数に換算すると 1kg のダマスクバラ花油を採るには、約 250 万個～360 万個のバラが必要です。オイルを採取する水蒸気蒸留の過程でもうひとつ生まれるものがダマスクバラ花水（ローズ水）です。



こだわりの
成分

ダマスクバラ花油
ダマスクバラ花水
ダマスクバラ花エキス

アロマの女王・ダマスクバラ花を多くのアイテムに使用

ダマスクバラ花油は精油で、ダマスクバラ花水もしくはダマスクバラ花エキスは水溶性の成分です。ブルークレールオーガニクスではブルガリアのバラの谷と呼ばれるローズドリナの有機農場で育てられたダマスクバラを化学溶媒やキャリアーオーバー一切なく抽出した成分を使用しています。

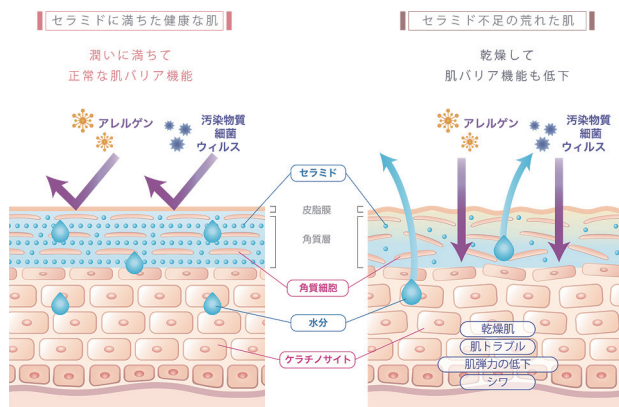
ダマスクバラ花は、アロマの中でトップクラスに立ち女王といわれる天然成分であり、さまざまな肌質に適します。お肌の収れん性、すこやかにしてキメを整え、やさしい天然植物成分でありながら理想のエイジングケアとしての役割を果たします。素晴らしい香りはリフレッシュ作用があり、私たちの身心の深くに影響を与えます。ブルークレールオーガニクスではローズアブソリュートと呼ばれる精油は、抽出過程にヘキサンなどの化学溶媒が使用されるため、一切使用せず、ローズオットーと呼ばれるダマスクバラ花油や水溶性の成分のみを使用しています。

こだわりの 成分

セラミド NP

セラミドとは、表皮の角質層の細胞と皮膚の細胞の間に存在する水気を含む脂質です。角質層の全脂質の 40～65% を占めます。細胞間の脂質のセラミド組成の割合を見ると、セラミド NP は、15% を占めます。

角質層とは、ケラチンというたんぱく質からできており、外からの刺激から肌を保護し、肌内から水分が外にでるのを防ぎ、乾燥やほこりなどの外敵から皮膚を守り、皮膚環境の健康を保つバリアの役目を果たします。



- ☑ 乾燥肌の人は、一般的にこのセラミドの量が少なく、バリア機能が低下していると言われています。
- ☑ 潤い感・プルプル感のある肌は、一般的にセラミドの量も多いですが、セラミドの量は加齢や気候・環境の変化によって増減します。例えば、顔を洗いすぎると表皮を強くこすりすぎ、セラミドまで失われることがありますので、刺激の強すぎる洗顔は良くありません。

ブルークレールオーガニクスでは、この成分のパワーに着目し、セラミド NP を多くのアイテムに使用しています。

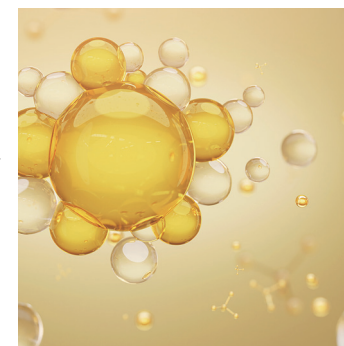


こだわりの 成分

ビスグリセリルアスコルビン酸

皮膚内で徐々にアスコルビン酸に分解される 画期的な持続型水溶性ビタミン C 誘導体

ビタミン C にグリセリンを付加したビタミン C 誘導体。ビスグリセリルアスコルビン酸は、皮膚内の酵素で分解されビタミン C として徐々に働くため、安定性と持続性が高く、新規の持続型ビタミン C 誘導体とも呼ばれています。トウモロコシなどの穀物由来で、ブルークレールオーガニクスは Non-GMO のものを採用しています。



従来の水溶性のビタミン C 誘導体は、水に溶けると揮発しやすく持続した効果を出すことが現実的には難しいという見方がされていますが、ビスグリセリルアスコルビン酸は、溶け出しやすいアスコルビルリン酸にグリセリンをつけることによりこの性質を改善しており、さらにお肌への潤いややさしさも向上しています。ビスというのは二つという意味で、分子構成上ビスグリセリルアスコルビン酸はアスコルビン酸の二か所にグリセリンをつなげています。



お肌に透明感、ハリと潤いを届け、さらにお肌に刺激の少ないテクスチャの良い成分としてブルークレールオーガニクスでは、“持続型ビタミン C 誘導体”のビスグリセリルアスコルビン酸のエイジングケアに注目し、リペアモイスト W エッセンスやローズエステリッチローションに高濃度配合（当社比）しています。